

ダンスパフォーマンス&展示プログラム「ボディ・ジエター」  
現代芸術創造事業

Dance Laboratory by アルカイ・ガイツ

1711 = 工場 日記

権 隆 3.4

NPO 法人 DANCO BOX

▷ 2010年2月8日 (A)

9:30 過ぎ アルカディオン 開西国際空港に到着

11:00 頃 ホテルに check in

18:30 頃 ミーティング (アルカディ, 文, 横塚)

19:30 頃 ウェルカム・ディナー (アルカディ, 内山, 垣尾, 黒子, 福岡, 大谷, 文, 横塚)

20時間<sup>以上</sup>のフライトを経て、開西空港に到着したアルカディオンは、かたがし疲れている模様。

写真の印象がゴッツイ感じ、会ってみると予想外にやわらかくひょろとした感じを受ける。

来れるメンバーに集まってもらってウェルカム・ディナーを。とても静かに始まった。

アルカディオンが「女始めに足踊りが、フォークダンス (民俗舞踊) であることを聞いた。

イスラエルには、様々な地域からのユダヤ人が集まっている為、フォークダンスにはその様々な地域のダンスの特徴が散りばめられているらしい。

このフォークダンスの構造が気になる。そして、各地域のダンスのどの部分から特徴的とされるのだろう、またこういった日には踊られるものなのか。

▷ 2010年2月9日 (火)

11:00 ~ 13:30 頃 リハーサル① (アルカディ  
宮北, 安川, 黒子, 垣尾)

15:00 アトエリア B1 下見

17:30 ~ 21:30 頃 リハーサル② (アルカディ, 内山, 福岡)

いよいよ本格的に始まった。

午前のリハーサルでは、先ず30分程、みな一様にそれぞれのウォーミング・アップから始まった。日常の時間からリハーサルへと移行していく時間。

それぞれにやり方が異なっていて興味深い。

アルカディオンより今日のプログラム全体を通して考えられているテーマの話しから。

"Body as a container (容器としての体)"

体を容器として促えること。

そして、容器に異なった様々な要素を放り込んでいくことで、  
どのような反応が生まれるか。

一つの要素(課題)が、全然違うところへ行くと  
なれば、そして根本のものはどこにあるのか、探していこう、とのこと。

先が台めに行った実験は、"体の機能を意識して立つこと"であった。

芸術創造館のスタジオのグレイの壁の前に千羽が立ち、

体を容器として見ることから、どのような動きが生まれてくるのか、

約15分ぐらいかな!? 行った。

一人一人違っているのだが、動きの違いよりも、触感の違いが  
印象的であった。動きの触感、手先の触感、そして体全体の触感。

見るダンスではなく言葉のダンスの時間は、こうして台まった。

次は、会場となるアートエリアB1へ下見に。

ちょっと気になる場所があるようだ。そこに立っては戻り立っては戻っている。

なんでそこが気になるのか、よく分からないなあ。

そして、遅めの昼食をとり、夜の17時会場へ。

今日のプログラムは、けい古場ジグソーのゴトク、本当に様々なスタジオを  
点々とした。狭いところからやや広い所まで。窓のある所から、

窓も換気扇の無い所まで。

京都芸術センターや数々の青少年センターがある京都市を今回ほど  
うらやましく思ったことはない。

はいはいで、どのような対策を練るのか、大きな課題はある。

パウエル氏のスタジオの大体の平均のスタジオ代を聞いた。

大阪よりも若干安いぐらい。

私が見ている感じでは、けい古場の雰囲気が変われば、

身体をその空間に紐づけてリハーサルへ入っていく時間が、長くなる  
ような感じを受ける。でも不思議なことに、何度使っていても

密度の濃い時間になるのに、時間がかかっていそうだったり、

2回目にして、濃いリハーサルがすぐに進んでいたりする。



ダンサーのその日の体調も影響してくるだろうから、一概には言えないが、  
空間が身体に与える影響について考える。そして理想の創り場の現場  
全員と初顔合せが終了。宿題が出る。

“あなたを定義しているなにかを5つの言葉で表して下さい。  
それは感覚、記憶、出来事、もの等なんでもいい。  
自分の体の感覚として持っているものを提示して下さい。”

▷ 2010年2月10日(水)

12:00~19:00 リハーサル③ (全員)

今回参加に下さっている関西在住のダンサー達は、皆、忙しくて、  
なかなか全員が集まれる時がない。この時も、それぞれで  
おダンサーが帰り、やって来る。こういったプロセス・プログラムを行う時は、  
ダンサーの確保がいつも大きな課題となる。

ウォーミングアップの後、じっくり宿題に対する返答を  
行う。人によっては、子どもの頃の記憶が多かったり、  
現在進行形のことで、様々なエピソードや要素が出てきて、  
とても興味深かった。体にまつわる事も多かった。

次に、自分が提示した言葉のうち一つを選び、  
そこから出てくる感覚を体に落とし、立ってみる。動く。  
そして、始めに生まれた動きを、再び、たどってみることを  
繰り返した。

身体で記録あること、身体が記憶していること、その空間を  
行き交っているように見える。

始めに出た動きに強度と新鮮さがあり、それを繰り返して  
トレースしてみても、さらに強度が増すとは限らない。  
ただ繰り返している中で、違った触感や方向性をもった  
動きが生じてくることがあった。それには、アクト・クセを  
強く感じさせられる。身体のアクトのようなもの。

この日、アルカディさんの言葉が印象的だったことは

“ たった一つの動きで、全ての表現をすることが出来る ”

“ 身体は抽象的なことが出来る。抽象性と体とを結びつける  
ことが出来る ”

エブリハーサル2日目であるけれど、微妙糸田は微妙糸田な身体の動きや  
表情に目を凝らし続けてみると、ふと“ 身体の森 ”という言葉が  
浮かんできた。深く、豊かで、まだまだ未知なるものをほらんでいる。

それにしても、ダンサーは不思議な生き物だなあと思つてしまった。

身体のアートをどんどん研ぎ澄ましていくと、身体同士でどんな  
会話をしているのだろうか、と思うし、さらに研ぎ澄ましていくと、

この世の秘密へたどり着きそうだな気がする。

私の身体はあまりにもにぶくて鈍感である。

▷ 2010年2月11日(木) 11ハーサル④

13:00~ 内山、宮北。

15:00~ ↓ ↓ 黒子、福田、垣尾

20:00~ ↓ ↓

今回のプログラムは、アシスタント兼参加アーティストとして宮北裕美さん  
に任せて頂いている。アシスタントとしては、重に通言尺として、この企画の要を  
任せて頂いている。

今日は、まずは内山、宮北デュオのリハを行おうと予定していたが、  
急きょ、内山君とアルカディさんが別部屋でけいこをすることに決まった。  
通訳は？と宮北さんがたずねると、アルカディは“ 体があるから  
大丈夫 !! ”と軽やかに、別部屋へ。

そして、15時には、他のメンバー達も合流し、昨日行った  
自分を定義する一つの言葉を体に落とし動きをバースに、  
目撃しを<sub>て</sub>行った。

これがとても面白かった。目から得る情報、目から察する情報を  
取ってしまうことで、身体のセンサーがさらに尖鋭さを持ち、  
微妙糸田とダイナミックさか混在する様々な動きが生まれてきた。

身体がホタルの光の如くに 発光するような瞬間が 出てきて、  
目が 離れせない。

福岡さんは 黒子さんのを見て「告白のようだった」と 語ったが、

今までの その人にはあまり 見なかった 重かきか 生まれていたのでは、  
ないかと思う。内山君の 手首の 糸織糸田さ、美しさには 驚いた。

リハーサル後には アルカディと そのニヒを 言合すと、"2人で けい 古した ニヒか、  
生かされていた" とのニヒ。何を したの？ と T=が ねると "ハジメの 伊を  
クリ-ニヒが した" と。

そして、20時から は、福岡さんと 垣尾さんの デュオ。

アルカディさんが 2006年 に つくった デュオの 作品を 見る ことから 始まった。

それは とても ミニマルな ~~構造~~ 構造で できているが、よく できている。

相手を 動かすこと、<sup>と</sup>動かされること、動かされるニヒか、再び 相手を 動かすこと、  
ぐるぐる と 車輪廻の ように 糸 繰り返される。

構造が あって、重かきの 肉付けは 即興で 行われる。格闘の ようでもある。

この日、固まったことは、一人づつ 目隠しを して 踊っている 時、

回りの メンバー 達も、その 足音に 感化されるのか、皆 踊っていた ことである。

## ▷ 2月12日(金) リハーサル ⑤

11:00 福岡、垣尾

13:00 ↓ ↓ ↓ 宮北

15:00

内山、黒子

↓  
18:00 ↓ ↓ ↓

19:00 『Nine Fingers』 @P1ホール を 鑑賞

先日は、<sup>昨</sup> 晩の デュオの 続きから。

そして 他の メンバー 達が 合流して、昨日 一人で行った 目隠しを  
二人で 行ってみる。

内山君と 福岡さんの コニヒ、黒子さんと 宮北さんの コニヒ、

垣尾さんと アルカディさんの コニヒ。

ちやうどこの間、別件で 出ている。スタジオに 戻ってみると、

空気が 熱気 びくもっている。



この日は、けい古舞冬かりびアイホールへ『Nine Fingers』を見に行つた。

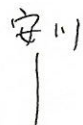
そしてホストパフォーマンス・トークを聞いて帰つた。

▷ 2月13日(土) リハーサル⑥

14:00 内山、宮北、垣尾

16:00

19:00



黒子、福岡

この日は、内山君、宮北さん、それぞれにアルカディの振付が3度される。

とてもリアルな行為の連続りなのだが、ダイナミックなムーブメントが現れてくる。アルカディが踊ると、体のバネのしなやかさか興味カ的。身体の構造が違うのか...

そして安川晶子さんの目隠しの時間に入る。トータルで42分程度。踊つてたのではないかと思う。途中、あるポイントで、何かが変わつた。スタジオの空間が三登んできて、安川さんの動きの微細な一挙一動に目がくまづけになる。身体が、生命体のように、生き生きと光り出した。

この次は、垣尾さんと安川さんとで目隠しをしてデュオ。この回も45分程度のセッション。UTですら2つの身体に目を凝らす。

黒子さんと宮北さんの目隠しデュオを終え、全員が集合。

2人1組のペアをつくり、相方の身体を入れ換えてセッションする。

福岡 - 垣尾 / 宮北 - 内山 / 安川 - 黒子

福岡さんは垣尾さんの身体になり、垣尾さんは福岡さんの身体になる。

このセッションもとても興味深いものだった。全然違うその人の動きが出てくる。今まで見てきた動きの質感、質感とは異なったものが目見れてきた。これは、相手のダンスをどのように見ているのか、よく出てきて、互に身体に深く沁み変換していくのか、そういった事があらかにはなる。いやあ刺激的な時間だった。

その後、最後のお楽しみ。

アカデイさんも含めた全員で、マイル・ジャクソンのスリナーを踊った。

全員で円になり。

好き放題!? 踊る。センターに飛び出した二人が  
ニヤがびきる。晴れた時間だった。



▷ 2010年2月14日(日) 11ハール ⑦

14:00 ~ 安川、福岡

17:00 中 黒子

18:00 官北、内山、垣尾

安川さんのソロを作り始める。

“今までやってきたアプローチとは反対のことをやっていて、めちゃ新鮮!!”と  
安川さんから聞いていたので、さらに注意深く観察してみる。

ダンスとして伝えようとされてきた事を、押しつぶすように落としていく。

玉ねぎの皮は一枚一枚 ぽいぽいいくように。そうすると、あまり

今まで見たことのない安川さんの身体の表情が見えてくる。

強さだけでなく、柔らかさ、暗さ、などの様々な表情が見えてきた。

これから、さらにどのように発展していくのか、楽しみである。

そこで、セッションを数回行い、全員で輪になって、今までのプロセスをふり返る。

内山さんは“全てのアプローチは難しくて興味深い。

以前から持ってるものと、新しく見つけたものをどのようにミックスできるかって思ってる”。

黒子さんは“アカデイはいろんなアイデアを出してくれるけど、

トータルとして言っていることは、根本的に同じことだと思う”。

それに対して、アカデイさんは“正確さにみんな、それをれから三皮かいていってるのが見えている。沸き上がってくるものは、人間につながっている”と。

順番に全員がそれぞれの思いや考えを伝え、

2/20のセッションに向けての話し。



“アートエリアB1は、挑戦的な場所なので、お菊さんといのちのように対面あるかを考えている。”とアルカディさん。

しかし、70レベニテ三ヨニに向けてのフラニカが見えてきそうで、もう一押し。

このリハーサルの後には、ほぼ全員でご飯を食べに行く。

アルカディさんが最近つくった作品についての話を聞く。

アマガ人と一筆者につくった作品だ。作品として上演あるまでに数回セリ推定したが、強い信念をもって、時間をかけて作られた。見てみたい。

その後、私はヤチ代と展示についての話を言詰める。

今回の開ってくれたダンスー達にインタビューしてその映像をお渡し、流す案を言詰める。

▷ 2010年2月15日(月) リハーサル⑧

10:00 ~ 12:00 安川

12:00 ~ 14:00 内山

14:00 ~ 17:00 福岡, 垣尾

今日からは、個人のリハーサルに入る。

そして、リハーサル後は、オブジェを完成しに布直庵に行く。

ダンスボックスの新世界での劇場併設カフェのカフェ4号をつくってくれたhitori工務店の白藤亜人さんが、今つくっている居酒屋エムへ。

作ってほしいオブジェの図案を見せると、一瞬空気が止まったかい。この次からが早かった。とりあえが作ってみよう!とまが一つめを着手。約15分ぐらいで完成。そして、2つ目、3つ目へと。

明日に、塚原に手伝いに来てもらうことができ、あと3つのオブジェは、明日に完成する。

▷ 2010年2月16日(火)リハーサル⑨

12:00 撮影の準備

13:00 全員

17:00頃. リハーサル⑨

アトエリアB1の白い壁をバックに、撮影を行う。

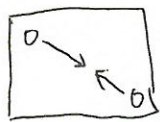
聞いたことは、

名前、身長、血液型、好きな食べ物、きらいな食べ物、  
好きな色、きらいな色、好きな場所、行ったことのない場所、  
休みの日には何をしているか、あなたが撮影監督を受けた人、  
好きな映画、好きな音楽、あなたを幸せな気分にするもの、  
ほかにかつての思い出、グリスをいつ始めたか、きっかけは？、  
今まで発売しているモバイルミュージックは、動く時にどのように感じて  
いるのか、インディペンデントアーティストとして日々挑戦していること、  
将来性についてどう考えているのか、おまけに、アルカゲさんの印象か  
みんなの印象。

みんなそれぞれが本当に面白い。

そして芸術創造館へ移動して、全員で1対1。

2人1組がペアになり、スタジオの対角に立ち、相手に「伝わって」と  
伝える。そして、その言葉がきちんと届いたら一歩前へ。



そのようにして、だんだんと歩み寄っていく。

身体全体が耳になり、研ぎすましている様子が  
伝わってくる。受け入れること、受け入れる壤をやわらかく  
持ちながら、2人が近づいていく様子はとても美しい。  
だんだんみんなの顔の表情がかわってくる。

さて、2/17はOFF。

2/18エリアラストスポットである。